

## 茨木市議会議員(無所属)



# あびこ浩子

## ゆめ・みらい通信

連絡先：(自宅) 茨木市穂積台1 2-503穂積台グランドコーポ

Facebook：あびこ浩子 | WEBサイト：<http://www.hiroko-abiko.jp>



### 6月議会 21日が最終本会議

阪急茨木市駅駐輪場、満杯です。



みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

梅雨に入りましたが、あまり雨が降らないまま。雨が続くのは憂鬱ですが、雨が無いと作物の成長にも影響が出ます。真夏の水不足も心配になってきます。地球温暖化の影響でしょうか、天候の不順を実感しています。世界が一緒に取り組む「温暖化防止の取組」(パリ協定)が本当の意味で進められないと地球規模での気候変動を止めることができないでしょう。しかし、各国の政治的な考えがあり、目指すように進んではいけないようです。

さて、6月議会も21日で最終本会議を迎えます。一般質問では多数の議員から現在の課題が取り上げられました。議会の議論で指摘された課題点が一つずつ改善されるように今後を見ていきます。議会では、いただいた課題やご意見を、当事者の想いを大切に、ご理解を得ながら方向を決めていくものです。しかし国会での議論をみていると、わたしたちの理解を得たうえで議決されているのかと疑問があります。きちんと説明するのは当然のこと、誤解がある場合や内容が伝わっていないのならば何度でも説明する努力を惜しまない姿勢が必要です。最後は多数決で決まります。けれどそこに至る議論はとて大切にされなければなりません。私は「声が大きい者の意見が通る」のではなく、声が小さくても、人数が少なくても、悩み、苦しみ、悲しんでいる方の声がきちんと議会に届く、議論の中にあがる仕組みが必要だと思います。政治家がその方の悩みが票にならないと判断して声を無視したり、潰したりすることは断じて許せません。市民の皆様活動を支え、生活の悩みに対応する施策を進め、何よりも高齢者や子どもたちや病気があったり、障害があったり、差別されている立場だったり、「声の小さい方々」の想いこそ大切にされる社会であってほしいと強く思って活動しています。

#### 【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選
- ◆夫、長女、長男、次女夫婦と孫娘

## あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(624)5480(留守時はメッセージを残してください)

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP: http://www.hiroko-abiko.jp

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」

「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko\_h(あびこ浩子(茨木市議会議員))



お互いさまと思える茨木に！  
生活者の視点を政治に！



## 市民会館跡地活用検討(中間報告) 2 社会情勢・政策課題についての検討

〈まとめ〉総合計画では、中心市街地に、「医療・福祉」、「子育て」、「文化」の機能を組み込むことで、人、モノ、カネ、感性が循環し交流する地域をめざすとしています。・現在の社会情勢等を踏まえると、「母子保健」と「子育て」については、誰もが訪れやすく利便性の高い場所で、連携したワンストップの拠点を設けることが必要とされています。そういった理由から、市民会館跡地を含む中心市街地は適地と考えられます。・「医療」については、府の「保健医療計画」との整合性を図りながら本市の政策課題として、別途、検討することとします。市民会館が閉館されており、発表の場や新たな文化芸術にふれる場づくりも求められています。その立地性から、中心市街地活性化における市民会館跡地の担う役割は大きく、エリア全体を見据えた検討が必要です。

### ■各課が市民会館跡地に必要と考える機能(主な意見)

#### ◎「子育て世代包括支援センター」

市中心部に位置し、市民の利便性が高い上、市庁舎に隣接することで福祉分野など関係課とも連携のとりやすいことから整備を検討すべきとの意見。(保健医療課、子育て支援課)



#### ◎「多世代交流複合センター」

若年層から高齢者まで利用でき、くつろぎの空間を備えた施設の整備により、中心市街地の活性化に繋がるとの意見。(福祉指導監査課)

#### ◎「(中条)図書館」、「プラネタリウム」

老朽化やバリアフリー、集客の観点から移転を検討。(中央図書館、文化振興課)

#### ◎「野外ステージ」、「催事スペース」

目を引きやすく、参加しやすい屋外のイベントでにぎわい創出を図るという意見。(文化振興課、商工労政課、公園緑地課)

#### ◎「緑あふれる交流空間」、「屋上市民農園」

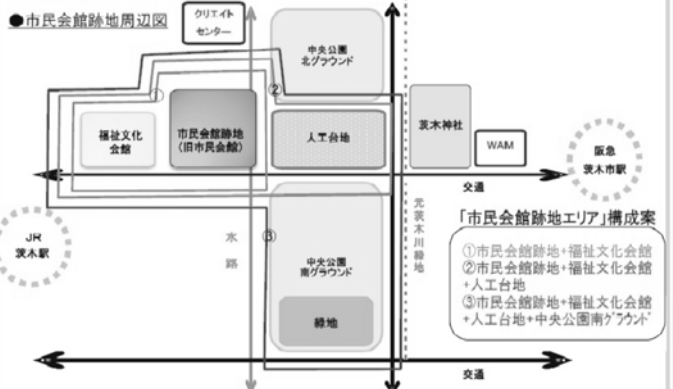
ビルの中に里山空間を再現するなど、北部地域の魅力発信やヒートアイランド対策を図るとの意見。(農とみどり推進課ほか)

#### ◎「災害時対応」

大規模災害時の罹災証明交付等活動場所、備蓄倉庫等(危機管理課)

### 2 社会情勢・政策課題についての検討

■本市の中心部に位置するという立地性を考慮すると、施設の跡地という“点”でなく、“エリア”として捉え、活用をデザインしていく必要があると考えます。そこで、隣接する福祉文化会館や、南グラウンドなどの一体活用も視野に、以降、「市民会館跡地エリア」として検討を進めます。



毎週火曜日・木曜日の朝、JR茨木駅西口下、水曜日の朝、南茨木駅、金曜日の朝、阪急茨木駅東口南側にてご挨拶と週刊通信を配布させていただいています。お急ぎとは思いますが、お時間許せば手に取っていただけましたら幸いです。お声をかけていただけたらとても嬉しいです！

